

静岡県東部地域企業経営動向調査

2008年10～12月期実績
2009年1～3月期見通し

財団法人 企業経営研究所

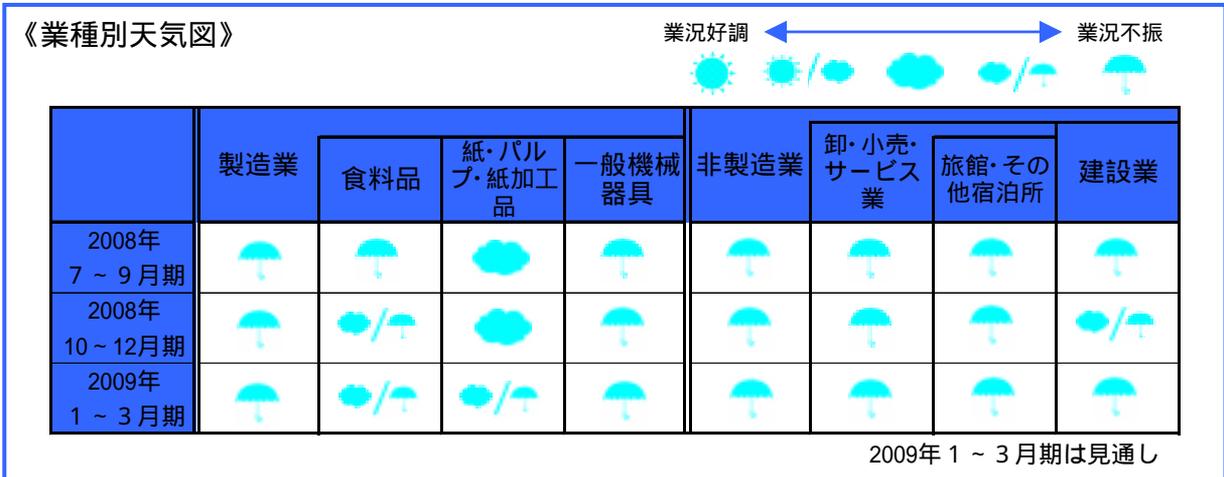
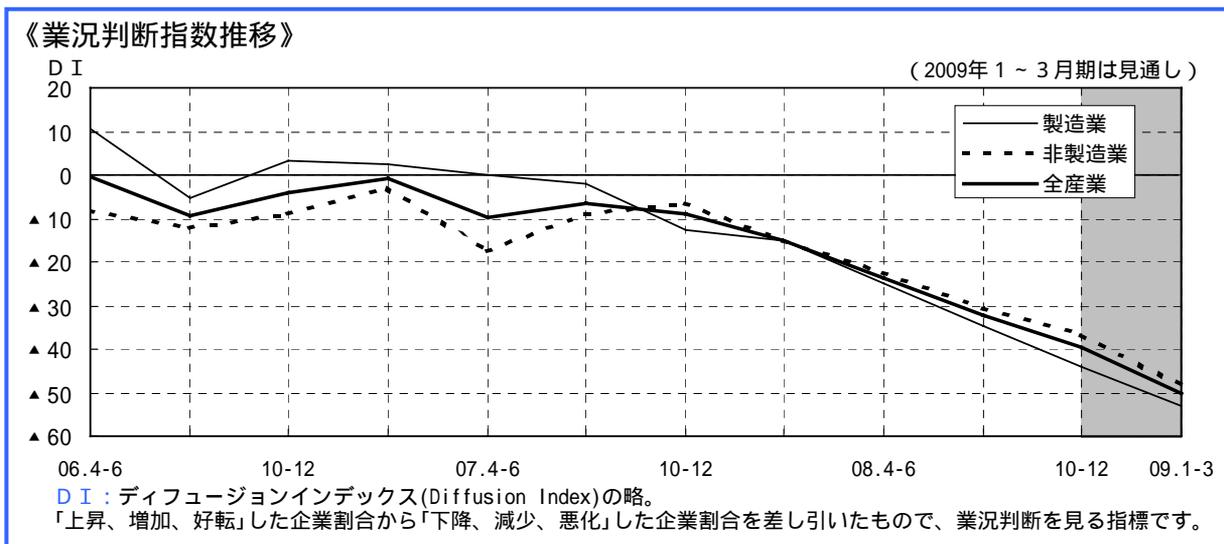
〒411-0036 三島市一番町15-26
TEL 055-981-3033 FAX 055-981-5888
URL : http://www.srgi.or.jp

業況概要(自社)

～全業種DIは01年10～12月期以来の低い水準に～

静岡県東部地域における2008年10～12期の業況判断DI(全産業)は▲39.8(前期▲32.0)で、同時多発テロ直後の01年10～12月期以来となる低い水準に落ち込んだ。製造業の業況判断DIは▲44.2(前期▲34.6)、非製造業は▲36.7(同▲30.5)で、いずれも連続して低下している。原材料等価格の高騰は概ね低下に転じたものの、受注・売上の停滞・減少が幅広い業種で深刻化し、業況判断を悪化させている。

2009年1～3月期の見通しについても、予測DI(全産業)は▲50.2と一段の低下が予想されており、先行きへの見方は非常に厳しくなっている。



《調査の概要》

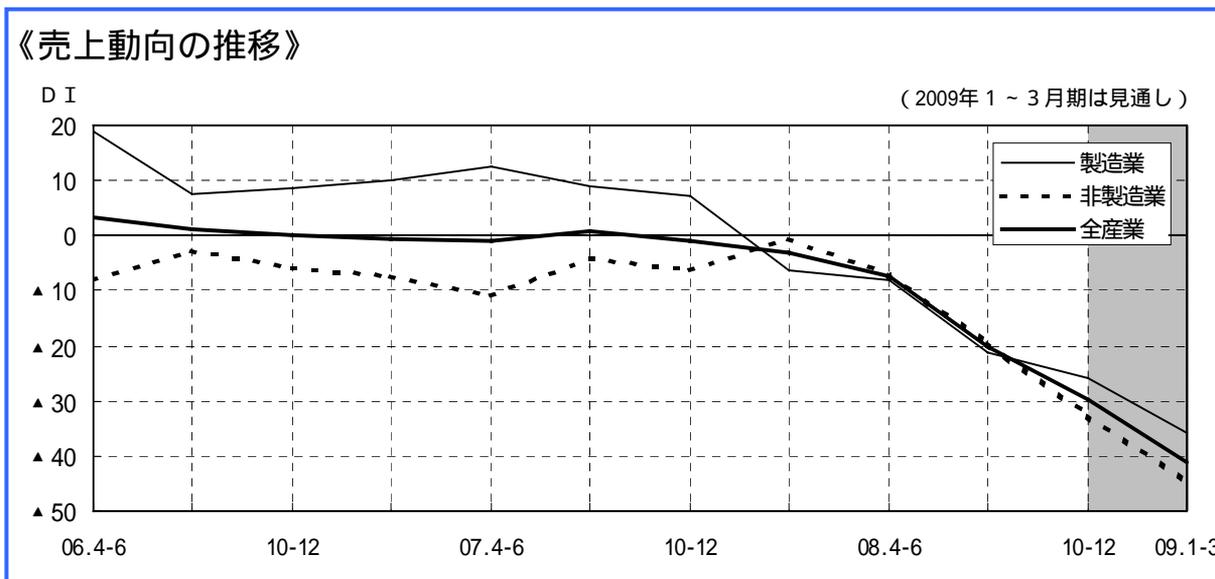
- | | |
|--|--|
| <p>1. 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握</p> <p>2. 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,030社
回答数279(回答率27.1%)
業種別企業数は4ページ下段図表を参照</p> | <p>3. 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査</p> <p>4. 調査対象期間
実績:2008年10～12月期
見通し:2009年1～3月期</p> <p>5. 調査時点
2008年11月</p> |
|--|--|

売上動向

非製造業でD Iが大幅に低下、製造業の水準を下回る

2008年10～12月期の全産業の売上動向D Iは5期連続で低下し▲29.9（前期▲20.1）となった。製造業では食料品でややD Iが上昇したが、金属製品やその他製造業で低下、一般機械器具も低水準で横ばいの推移となったことから、全体D Iは▲25.9（同▲21.3）と低下した。一方、非製造業では卸・小売・サービス業でD Iが▲36.3（同▲20.0）と悪化した影響が大きく、全体でも▲32.5（同▲19.3）と大幅にD Iが低下し、製造業の水準を下回る結果となっている。

2009年1～3月期（見通し）の予想D Iは全産業で▲41.0と今期比さらに低下し、業況判断D I同様、先行きへの見方は非常に厳しくなっている。

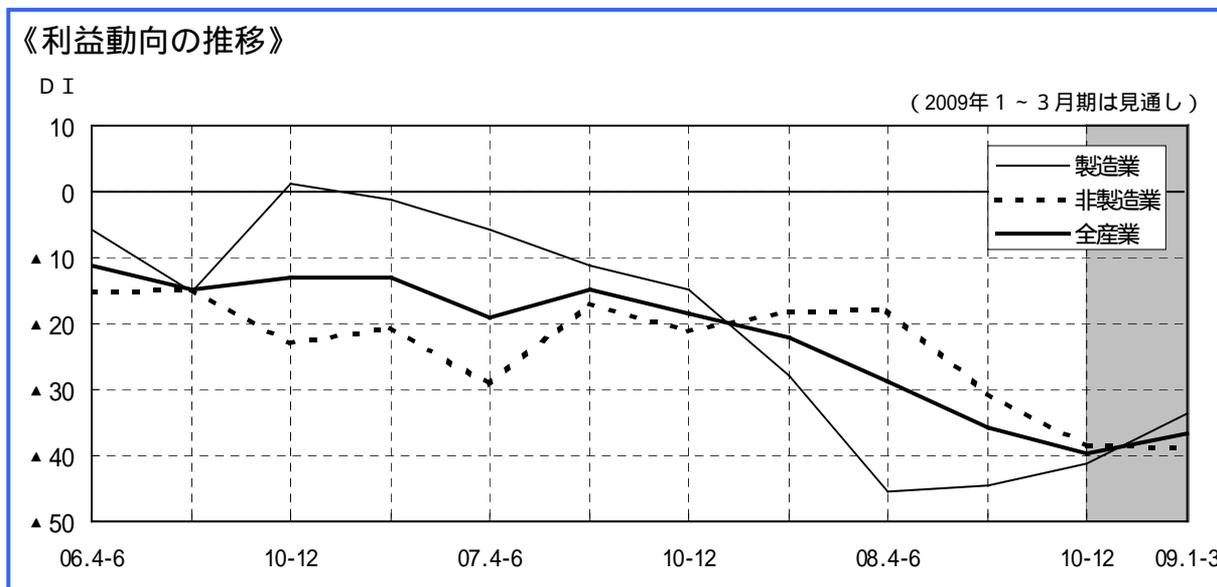


利益動向

製造業はやや改善も依然低水準、非製造業は引き続き低下

2008年10～12月期の全産業の利益動向D Iは▲39.6（前期▲35.8）で、売上動向と同様に5期連続の低下となった。うち、製造業のD Iは▲41.1と前期▲44.4よりやや改善されたが、足元の判断は厳しい。一方、非製造業の全体D Iは2期連続で低下し▲38.6（同▲30.5）となった。特に旅館・その他宿泊所や建設業でD Iの低下がみられる。

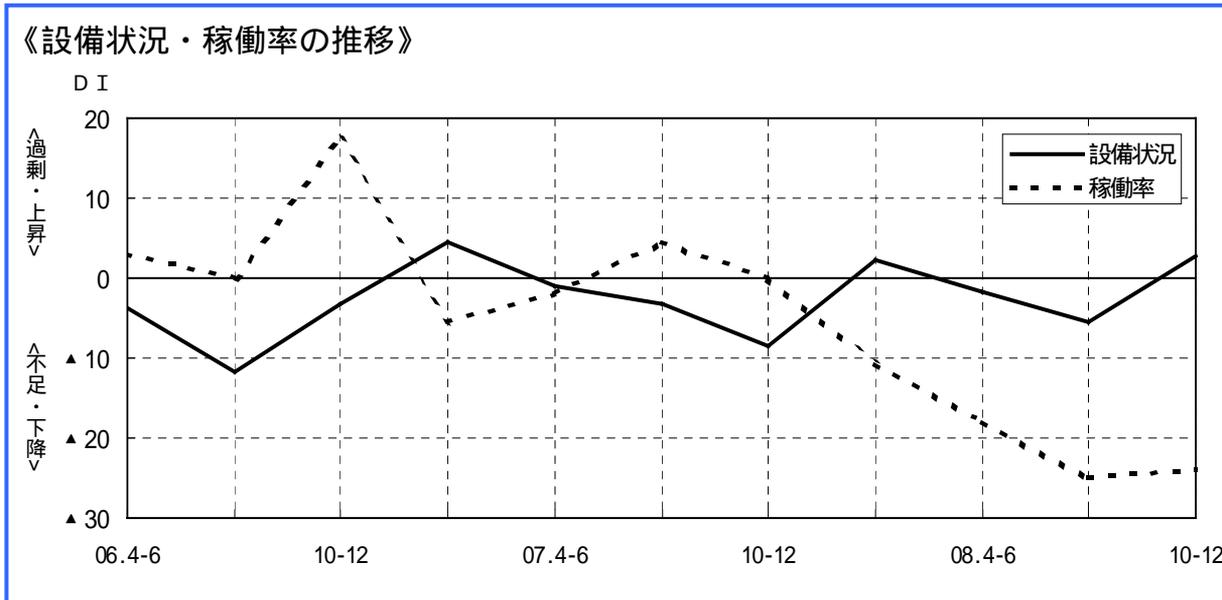
2009年1～3月期（見通し）のD Iは、全産業で▲36.7と今期比やや改善が予測されているが、水準としては依然低く、顕著な改善への期待はみられない状態にある。



**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況はやや「過剰」、稼働率は低水準で「下降」続く

2008年10～12月期の設備状況DIは、2.7と前期▲5.6と比較してやや「過剰」となった。パルプ・紙・紙加工品で「不足」感が強まったものの、一般機械器具が「過剰」に転じ、その他製造業でも「過剰」感が強まったためである。一方、稼働率DIは▲24.1(同▲25.0)と低水準で推移し、稼働率の「下降」が続いている。うち、パルプ・紙・紙加工品では「上昇」に転じた(▲7.1 50.0)が、金属製品(▲46.7 ▲47.1)は低水準で横ばい、一般機械器具(▲15.0 ▲44.4)では「下降」が続いている。

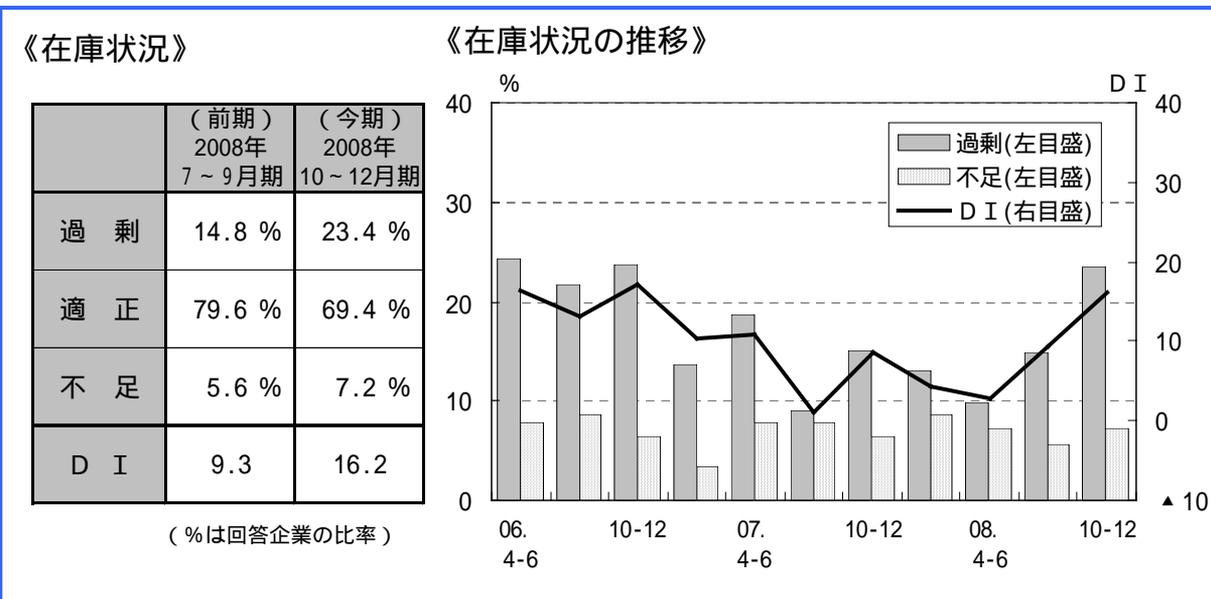


**在庫状況
(製造業)**

在庫過剰感がさらに高まる

2008年10～12月期の在庫状況(製造業)DIは16.2(前期9.3)と引続き上昇した。DIは06年10～12月期以来の水準に達し、在庫過剰感がさらに高まっている。「過剰」とする企業の割合が23.4%(同14.8%)と上昇しており、急速な景気後退により在庫過剰に至った企業が増加していることがうかがえる。

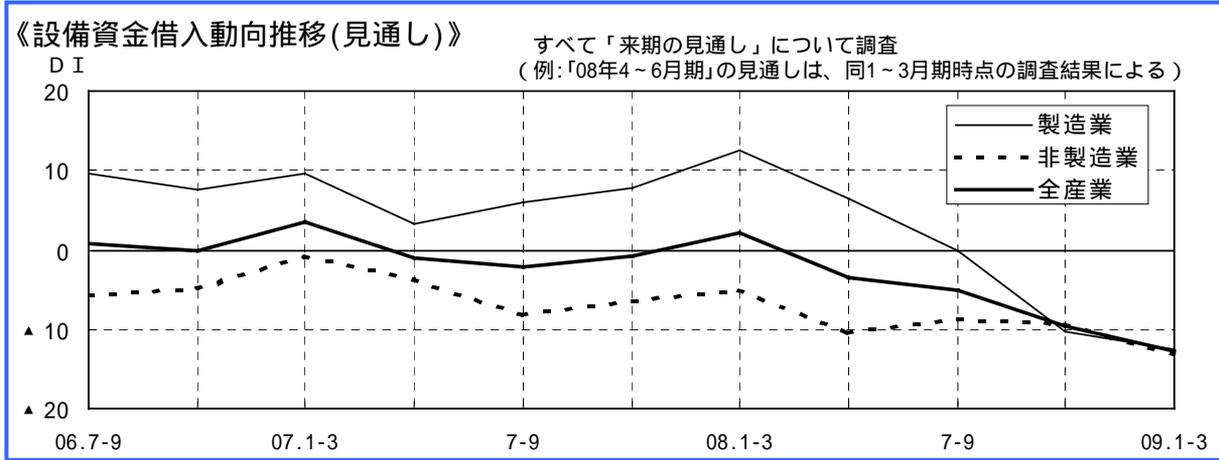
業種別では、食料品でDIがマイナスに転じ「不足」判断となったが、金属製品、一般機械器具、その他製造業はいずれもDIが上昇し、「過剰」感を強めている。またパルプ・紙・紙加工品でもDIが上昇し、従来の「不足」から「適正」の判断に変わっている。



設備資金借入
動向(来期)

製造業、非製造業とも借入抑制の姿勢が強まる

2009年1～3月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲12.9(前期▲9.7)と4期連続の低下となった。うち製造業のDIは▲12.5(同▲10.3)、非製造業は▲13.1(同▲9.3)となり、いずれも借入抑制の姿勢がさらに強まっている。



経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」が急増、全企業の7割に達する

「受注・売上の停滞・減少」と回答する企業が急増、回答比率は71.7%(前期57.9%)に達している。前期に拡大傾向がみられた受注・売上の減少が、経済情勢の悪化に伴い産業全体に急速に波及している状況がうかがえる。一方、1位を占めてきた「原材料・仕入れ商品の値上がり」の回答比率は38.6%(同59.3%)と大幅に低下し、原材料価格の低下傾向を反映した動きを示している。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

問題点	08年4～6月期		08年7～9月期		08年10～12月期		順位 変動
	企業	割合	企業	割合	企業	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	142	50.7	165	57.9	200	71.7	
2. 原材料・仕入商品の値上がり	181	64.6	169	59.3	106	38.0	
3. 過当競争・製品安	91	32.5	91	31.9	99	35.5	
4. 人材の育成	93	33.2	95	33.3	87	31.2	
5. 従業員の高齢化	49	17.5	42	14.7	59	21.1	
6. その他経費の増加	55	19.6	67	23.5	53	19.0	
7. 生産・販売能力の不足	46	16.4	43	15.1	41	14.7	
8. 人件費の増加	32	11.4	31	10.9	27	9.7	

《業種別：回答企業数およびDI》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	16	▲12.5	▲12.5	▲6.3	0.0	▲6.3	0.0
パルプ・紙・紙加工品	16	43.8	0.0	▲25.0	50.0	0.0	▲12.5
金属製品	17	▲41.2	▲58.8	0.0	▲47.1	18.8	▲17.6
一般機械器具	19	▲50.0	▲66.7	11.1	▲44.4	22.2	▲10.5
その他製造業	45	▲40.0	▲48.9	13.3	▲42.2	26.7	▲15.9
製造業計	113	▲25.9	▲41.1	2.7	▲24.1	16.2	▲12.5
旅館・その他宿泊所	19	▲57.9	▲63.2	-	-	-	0.0
その他小売・サービス業等	94	▲31.9	▲31.9	-	-	-	▲6.6
卸・小売・サービス業計	113	▲36.3	▲37.2	-	-	-	▲5.5
建設業計	53	▲24.5	▲41.5	-	-	-	▲30.0
非製造業計	166	▲32.5	▲38.6	-	-	-	▲13.1